



たかといちどいだよ!



平成30年1月 第28号

たかといちどい保育園

あけましておめでとうございます

2018年がスタートしました。ご家族ではどんなお正月を過ごされましたでしょうか。私はごく当たり前のことかもしれませんが、初詣に行ってきました。そこで「今年一年、家内安全で過ごせますように」と「たかとりちどり保育園の子どもたちが、健やかに成長できますように」そして「職員が健康に仕事することができますように」とお祈りしてきました。皆さまは初詣に行かれてお祈りをされましたか。そのお祈りの内容は、自分のこと、お子さんのこと、家族のこと、いろいろだと思いますが誰を一番にされたのでしょうか…。

ところで、子どもたちにとってのこの一年の成長はゆっくりのようで、実は歳が若いほど物凄いものがあります。例えば、寝ていた子どもが寝返りをすることができ、ずりばいから高ばいをし、つかまり立ちをして、立って歩くことができるようになる、といったように日々少しずつですが成長をします。そして、一年を過ぎれば凄い成長になっているのです。その後もできることがどんどん増えていきます。そのような凄い成長の一瞬の変化を見逃さないようにしてほしいと思います。その積み重ねが親としての子どもの成長の喜びと楽しみになっていくと思います。

その変化を保護者の方に見逃さないようにして頂くため、今後も私たちは、子どもたちの日々の成長をたくさんお話ししていきたいと思います。今年も宜しくお願い致します。

越智るみ子

仲間がふえたよ!

昨年11月末、たかとりちどり保育園に11匹のザリガニの赤ちゃんがやってきました。興味津々な子どもたちは、「あ、うごいた」「ちいさいね〜」と水槽に上から横からと顔を近づけて、毎日見ています。ザリガニはとても成長が早く、丈夫な姿であっても必要な条件が揃ってこそ育つ生き物です。

水質

人が綺麗な空気を吸って生活するのと同じく、ザリガニも綺麗な水で飼ってあげましょう。

水温

あまりに冷たい水であると動きが悪くなり、冬眠の状態になってしまう。室温程度の水温を心がける。

十分なスペース

ザリガニは、縄張り意識が強い生き物です。狭い環境で飼育せず、十分なスペースを用意してあげると、仲間と喧嘩することが減ります。また、水槽の中に、隠れ家になるような砂、水草や石などを入れることも大切。

エサ

ザリガニのエサは、1日1回〜2回食べ残さない量を与える。ザリガニは、エサを丸飲みするのではなく、少しずつ食べるので、食べカスで水が汚れやすい特徴があることに注意する。



ザリガニは、目に見える姿形の変化がとても魅力的です。頻りに脱皮をして大きくなるので、子どもたちも目で見て成長が分かり、楽しめるのではないのでしょうか。園では、飼育することを通して、楽しさを感じるだけでなく、命の大切さを知り、小さな命を大切に思える気持ちを育てていきたいと考えています。ザリガニ達が快適に過ごせるよう環境を整えていき、大きく成長する姿を観察し、日々の変化を子どもたちと一緒に発見しながら、育てていきたいと思います。

植田 絵理



あさひぐみ



あさひ組では登降園時、友だちに「タッチ～」と手を伸ばしハイタッチをして挨拶をするのが日課になっていて、元気な子どもたちの声が聞こえるようになりました。「〇〇ちゃん来たね、おはよう」「バイバイ、また明日ね」と声を掛けながら、人と関わる事が楽しいと感じられるようにしていきたいと思っています。

自分の事だけでなく、周りの様子にも興味や関心がより一層出てきて、次は何をするのかも理解し動けるようになっていきます。「今日は屋上園庭に行こうね」と声を掛けると扉まで行き、保育士がいつもしているように、友だちへ帽子や靴下を渡している子どももいます。誰の持ち物かも判っていて、確実に本人の元へ届くことに感心してしまいます。

クリスマス製作では、プラカップの中に短く切ったスズランテープを詰めたり、シールを貼ったりして小さなクリスマスツリーを作りました。箱に入ったたくさんのスズランテープを1枚ずつ指でつまむ、がばっとわしづかみにする、くしゃくしゃにしたり指先を上手に使うと割いたり感触を楽しんでいました。また、静電気でテープが手に付き中々取れず、必死で取ろうと手を振ったり、反対の手で取るとその手にまた「ペタッ」困って保育士に助けを求めたりと色々な表情を見せていました。

今月は寒い日も多くお部屋で過ごす時間が増えると思いますが、指先を使う遊びや室内でも十分身体を動かせるような遊びを準備して、静と動のメリハリを持って過ごせるようにしていきます。

春名 美和



ひかりぐみ



寒い日が続いていますが、天気の良い日には、園庭を走り回り元気いっぱいのひかりぐみの子どもたち。先月は、歌やお話を楽しんだり、製作をしたりして、クリスマスに親しみがもてる活動を多く取り入れました。「♪サンタはいまごろ」の歌は子どもたちも大好きで、好きな遊びをしている時にも「シャンシャンシャラー」と口ずさんでいました。製作ではのりづけをしてクリスマスリースを作りました。のりを使うことにも慣れてきて、「どうやって塗るんだった?」と尋ねると「こう!」と、人差し指をピンと立てて得意にする姿も見られました。紙を貼ったり、シールを貼ったりして完成したクリスマスリースを「できた!」と嬉しそうに見せていました。作ることが大好きなひかりぐみの子どもたち。これからも、様々な製作が楽しめるよう工夫していきます。

食育では、もち米や小豆に触れました。もち米や小豆そのものに触れ「かたっ!」と言ったり、炊いて柔らかくなったものに触れて「わぁっ!」と言ったりして、感触の違いを感じていました。また、炊いたもち米を混ぜて、お餅に変化する様子に「すごー!」と歓声をあげるなど思ったこと、感じたことを言葉にする子どもたちでした。今後も、食育を通していろいろな食材に触れ、興味もてるようにしていきたいと思っています。

今月は凧あげやこま回しなど様々なお正月あそびを楽しむ予定です。また、天気の良い日には外気に触れ、思いきり体を動かすことで元気な体作りに努めたいと思います。

谷川 美里



1月の予定

内科健診	11日(木)
誕生会	12日(金)
保護者会・講演会	13日(土)
避難訓練(神戸市シェイクアウト訓練)	17日(水)
よい子のつどい(5歳児)	18日(木)
体育あそび	18日・25日(木)
耳鼻科健診(4, 5歳児)	24日(水)
発育測定	24日(水)~26日(金)





にじぐみ



先月は、子どもたちとサンタさんを迎える準備をしました。以前育てた朝顔のつるをリースにして、毛糸を巻いた上からビーズ・リボンを付けました。完成したリースを見て「サンタさん、はやくきてほしいね」と気持ちが高まるばかり。保育室のドアに飾ると、とびきりの笑顔をたくさん見せていました。クリスマスの絵本を読んだ後に「保育園にサンタさん来るかなあ？」と問いかけると「サンタさんにあいたい〜」と、とても楽しみにする声が聞こえていました。これからも絵本や製作を通して、行事に興味や関心が高まるように保育を工夫していきたいと考えています。

身の回りのことを自分でできるようになり、戸外へ遊びに行く準備もやる気満々。帽子、上着、靴下を自分で用意しています。上着のファスナーを上げようとする姿も見られます。まだまだ時間がかかりますが、自分でやりたい！という気持ちを大切に见守っていきます。1月も寒さを吹き飛ばす程元気な子どもたちと、たくさん身体を動かして遊びたいと思います。そして戸外遊び後は、手洗い・うがいの仕方を丁寧に伝えて感染予防に努めていきます。また、室内では、お正月にちなんだ福笑い、羽根つき遊びなど、簡単なルールのある遊びを楽しむ予定です。

佐伯 紗羅



きりんグループ



きりんグループでは給食の時、目標時間を決めて食べるようにしています。その習慣が子どもたちに根付き、「もうおしゃべりはすくなめにしよう」「じかんがきてるよ」と、子ども同士で気付いて声を掛け合っています。食べる時間も4月当初に比べて、大幅に短くなりました。そして、おかわり分が綺麗に無くなるほどに、食べる量も増えました。今後もその姿を十分に認め、時間内にしっかりバランス良く食べられるようにしていきたいと思います。

12月は手作り楽器を使い、音楽会ごっこを行いました。子どもたちで作りたい楽器を決め、カスタネット、マラカス、太鼓、ウッドブロック、鉄琴をそれぞれ工夫して作りました。完成した楽器でリズムを鳴らすと、「きれいなおとがなったよ！」「せんせい、きいてみて！」と自分で作ったことに満足し、喜んで遊んでいました。これからも、子どもたちが作りたいと思う気持ちを大切に、想像を膨らませて楽しみながら様々なものを作れるよう、環境を整えていきたいと考えています。

今月は、子どもたちの休み中の楽しかった経験を話す機会を設け、グループ内で共有していこうと思います。そして、お正月についての話をし、正月ならではの遊びに親しみをもちながら友だちと関わって遊べるようにしていきます。

中丁 紗穂



ぞうグループ



寒さに負けず元気いっぱい過ごしている子どもたち。先月は楽器を作って音楽会ごっこを楽しみました。「みんなで作れる楽器ってどんなのがあるかな？」という保育士の問いかけに対し、一生懸命考え「たいこ～マラカス～あとは、すず、ギター」と様々な楽器があがってきました。その中でどれを作るか話し合った結果、太鼓とギターに決定。「ペットボトルをつかおう！たたくぶんはダンボールがいいかな？」「ギターは、わごむをつけよう」「これで、かわいくかざりつけよう」と様々なアイデアが生まれ、子どもたち中心に進めてきました。太鼓は、段ボール、緩衝材、布ガムテープをたたく部分に使用しましたが、素材によって音が違うことにも気づき、「うわぁ～こんなおとがする」「こっちはボンボンいうね～」と音の差を楽しむ姿も見られました。音楽会ごっこ当日は、「こんなおとがするからきいててね」「いっぱいならそう」といい、お客さんに演奏を聴いてもらう事を喜び、自信をもって本番に取り組んでいました。

寒くなり体調を崩しやすい時期になってきましたが、朝の話し合いの時間に、なぜ風邪を引くのか、健康に過ごす為に必要な事は何か、などについて一緒に考える時間を設けました。そうする事で「ばいきんがからだのなかにはいるからかぜひく」「しっかりたべてしっかりねることがたいせつだね」と話をし、健康に対する意識が高まっています。今後も健康に過ごす為に必要な事をその都度伝え、自分たちで進んで感染症の予防に取り組めるようにしていきます。

今月はこまや凧あげなどお正月あそびをして季節を感じたり、画用紙で自分たちの洋服を作りそれを干して遊ぶ「洗濯ごっこ」などのごっこ遊びを存分に楽しんだりできるようにしたいと考えています。

長田 麻里